

事業名	303.5	心身障害児訓練施設通園費助成(上野支所管内)	会計	01	一般会計
基本施策	5	障害のある人の自立した生活を支える	款	03	民生費
			項	01	社会福祉費
			目	04	障害福祉費
担当部課名	健康福祉部 高齢障害課		細目	101	障害者福祉一般事業
作成者氏名	榊 光裕	連絡先	細々目	01	障害者福祉一般経費
		22-9657			

事業の計画・内容

事業の目的	対象等(何を、誰を)	成果(どうなるのか)			
	身障害児通園事業を実施する施設、知的障害児通園施設、知的障害者更生施設、知的障害者授産施設及び精神障害者授産施設のいずれかに通園する障がいのある児童の保護者	通園費の一部を助成することにより社会参加を促進し、もって障害児等の福祉の増進に寄与することを目的とする。			
本年度事業内容	伊賀市中心身障害児等訓練施設通園費助成事業 対象者: 障害児福祉施設に通所する障害児の保護者 支給額: (1)公共交通機関を使用する場合は、通園に係る交通費の2分の1 (2)自動車を利用する場合 ア.片道5km未満 日額100円 イ.片道5km以上10km未満 日額200円 ウ.片道10km以上15km未満 日額300円 エ.片道15km以上25km未満 日額400円 オ.片道25km以上30km未満 日額500円 (3)助成金の上限を1か月1万円。				
開始年度	平成 16 年度	終了年度	平成 年度	根拠法令・要綱等	伊賀市中心身障害児等訓練施設通園費助成事業実施要

投入資源

		H17	H18(予算)	H19(予算)
投入人員	正規職員 (人)	0.1	0.1	0.1
	人件費合計(A)	720	720	720
	事業費(B)	1,339	1,331	1,331
支出内訳(千円)	補助金	1,339	1,331	1,331
	合計(A+B)	2,059	2,051	2,051
財源内訳(千円)	特定財源			
	国県支出金			
	地方債			
	受益者負担			
	その他特財			
	一般財源	2,059	2,051	2,051
上記 ~ に関する特記事項				

事業実績

活動指標	単位	実績値			目標値		
		H17	H18	H19	H17	H18	H19
支給人員	人	56	56	56			

評価指標

事業の目的の成果を測る指標	指標設定の考え方	単位	H17	H18(目標)	H19(目標)
対象者適用比率 (補助金対象会員数 / 通所者数)	当該補助金制度の助成対象者を分子とし、通所者数を分母とする。	%	100 目標 (100)	100	100
			目標 ()		

事業開始時からの状況変化及び事業の改善点等

・施設等を通じて、制度の周知啓発を行っている。

評価	必要性	4	施設の通所にあたっては、施設が実施するのが理想であるが、伊賀市は広範な地域であるため、実施するのは困難な状況である。その状況下の中で、本事業を実施していく必要はある。	総合評価 B
	有効性	3		
	達成度	3		
	効率性	2		